

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	音楽療育特化型事業所 リズムストーリー松原		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 12日		R7年 3月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	R7年 2月 12日		R7年 3月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていること。事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されているところ。	音楽療育特化型事業所では音楽療法を基盤として様々なニーズに合わせた療育内容となっています。音楽療育のプログラムには5領域に応じて考えられており一つのプログラムに意味目的があり個別療育と集団療育の両方兼ね備えた内容となっています。	音楽すべてのジャンルから個々の子ども達のニーズに適した題材を検討し、プログラムを組み合わせることで固定化されないように工夫し常に子ども達にとって興味ある内容として楽しく参加できるように取り組み、さらに個別に専門的支援を取り入れたことで今まで以上に個々の療育に丁寧に取り組めるようになってきました。

2	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているところ。	フォーマルアセスメントでは「Vineland-II」を導入。「SM 社会生活能力検査」「KIDSスケール検査」を使用。	インフォーマルアセスメントとの併用により本人に必要な支援内容を明確にし、個別支援計画又専門的支援計画を作成することで日々の支援に反映しより良い支援に努める。
3	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	各学校、障害福祉、保育、教育等の関係機関との連携を随時取り情報共有を適切に行っている。会議等のお知らせについては保護者様にご連絡し個別支援計画等に定時についての承諾を必ず得るようにしています。	主に管理者が障害福祉（相談事業所、市役所）保育、教育（幼稚園、小学校、中学校）等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているが、指導員や保育士、理学療法士の職員も今後積極的に連携を取り地域に貢献した事業所を目指します。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会を検討中です。	事業所にいろいろな学校や地域からご利用があり、異年齢の中で音楽療育に取り組みますので特に必要を感じないとお声もごぞいます。	地域支援に繋がるような開かれた事業所を目指しています。音楽療育プログラムに組み込めるか、又保護者様のご意向を今後確認し合い検討していきます。
2	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等を検討中です。	発達検査を取り入れ支援方法や困りごとについて、ともに考え必要であれば助言を行っているので今すぐ必要とは考えれないが、今後どのように家族支援プログラムを取り入れるべきかを検討していく必要がある。	定期的にペアレントトレーニングのプログラムが組めるか検討していく。

3	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援、また、きょうだい向けのイベントの開催等検討中です。	父母会等 特に必要を感じられないというお声もありイベントがない事業所ですが、音楽療育を毎日開催いたしており、音楽を楽しみにご利用されています。見学は随時受付しております。マジックミラー越しに見学していただけます。	地域支援に繋がるような開かれた事業所を目指しています。音楽療育プログラムに組み込めるか、又保護者様のご意向を今後確認し合い検討していきます。
---	---	--	--